

# 日本RNA学会会報

No.17 (2008 年 2 月)

## 目 次

巻頭言 .....	1
日本 RNA 学会 第 4 期役員 役員会議事録 .....	2
日本 RNA 学会 第 9 回総会報告 .....	3
日本 RNA 学会 第 5 期評議員選挙について .....	4
2006 年度日本 RNA 学会収支決算報告書 .....	6
2007 年度収支予算 .....	8
第 10 回 RNA ミーティング (日本 RNA 学会年会) の 準備状況について .....	9

## 来夏 10度目 また RNA に会える ♡

井上 丹（京都大学大学院生命科学研究科）

第一回が開催された1999年は、ヒット曲では『だんご3兄弟』をはじめ、後藤真希加入直後の「モーニング娘。」が♪日本の未来は…。（『LOVE マシーン』）と歌い、宇多田ヒカルがデビューし、「スピード」が解散した年です。

ノストラダムスの予言により「1999年7月に世界が滅亡する」ことになっていました。幸いなことに世界は存続し、8月には京都で「第1回 RNA ミーティング」が開催され、同時に「日本 RNA 学会」が創設されました。すでに当時も RNA 研究は、ポップな色彩をもち、サプライジングな発見が特徴的でした。この学会は、「RNA 研究若手の会」の発展型でもあり、ミーティング開催を知らせる明るいイメージのポスターを作成し、その名称も旧弊な感じをする「日本 RNA 学会年会」ではなく「RNA ミーティング」としました。参加者は240名を越え、多くの人に、その場で、新学会に入会してもらいました。

「第1回 RNA ミーティング」のプログラムでは、スタンダードな RNA 研究に関するセッションに加え、2つの先駆的なセッション「発生・分化と RNA」、「神経分化・機能と RNA」をもうけています。これらは、現在では主流である「RNA と高次生命現象の密接な関係を探る研究」についてのものでした。この新しい研究へ即座に対応するスピリットは、第2回以降も受け継がれました。また、既存のセッションも少しずつ形を変え、今では物理学、化学から医学までの広大な分野を横断する多様な研究者が集うミーティングとなっています。

十年一昔、振り返れば「RNA ミーティング」は、この柔軟性がすぐれた特徴であったと思います。「国際 RNA 学会」のミーティングにくらべても、新しいトピックを取り入れることでは、とても大胆かつ先進的であったと思います。サイズが小さく、長い歴史をもたないことの良さでしょう。現在、乗り越えるべきさまざまな問題があるとは思いますが、「RNA ミーティング」が、そのスピリットを失わず、今後も多くの研究者を刺激しつづけ、さらには、近未来の日本を鼓舞するような存在になることを願っています。

## 日本 RNA 学会 第 4 期役員 役員会議事録

日時： 2007 年 7 月 29 日（日） 12:30～13:30  
場所： 名古屋国際会議場白鳥ホール「会議室 433 号室」  
出席者：

4 期役員： 饗場弘二、井上邦夫、内海利男、大野睦人、河合剛太、塩見春彦(副議長)、塩見美喜子、松藤千弥、中村義一(会長)

役員： 井川善也、稲田利文、鈴木 勉

欠席者： 阿形清和

1. 中村会長が開会挨拶を行った。
2. 鈴木庶務幹事より、会員数の推移報告、その他の活動報告が行われた。また、第 10 回年会在 2008 年 7 月 23 日(水)から 25 日(金)に札幌コンベンションセンターで開催予定であることが説明された(集会幹事は内藤哲氏)。
3. 稲田会計幹事より、2006 年度の会計収支決算報告が行われた。すでに会計監査により適正な予算執行と認められたことが確認され、承認された。
4. 饗場集会幹事より、第 9 回年会準備・開催状況について報告がなされた。
5. 第 9 回総会の議長として廣瀬哲郎氏、副議長として杉浦麗子氏を推薦することとなった。
6. 第 11 回年会は内海利男氏に世話人を依頼し、新潟で開催することとなった。
7. 中村会長より、第 5 期評議員選挙について以下の報告があった。  
任期：2008 年 4 月 1 日から 2010 年 3 月 31 日  
公示：2008 年 1 月の会報  
投票締切日：2008 年 2 月末  
また、選挙管理委員として、鈴木勉氏(庶務幹事)、片岡直行氏、泊幸秀氏が推薦され、承認された。
8. International RNA society より、annual meeting を 2011 年に日本開催する可能性について打診があった旨、会長より報告があった。当学会として、前向きに検討することになった。
9. 今後の学会の財政基盤を考慮し、年会費の値上げについて、議論がなされた。一般会員の年会費を 5000 円から 1 万円に引き上げ、学生会員の年会費 2000 円は据え置きとする案が承認され、総会で諮ることとなった。また、企業ブースの出展条件などについても今後議論することになった。

(庶務幹事：鈴木 勉)

## 日本 RNA 学会 第 9 回総会報告

日時： 2007 年 7 月 30 日（月）午後 17 時 30 分～午後 18 時 30 分  
場所： 名古屋国際会議場 白鳥ホール

1. 中村会長が開会挨拶を行った。2011 年に International RNA society の annual meeting を日本で開催する可能性があるとの報告がなされた。
2. 総会議長に廣瀬哲郎氏、副議長に杉浦麗子氏を選出した。
3. 委任状を含む参加者数の確認を行い、廣瀬議長より総会成立に必要な 100 名を越えていることが報告された。
4. 鈴木庶務幹事より、以下の報告が行われた。
  - ・ 2007 年 7 月 23 日現在、正会員 733 名(一般会員 436 名、学生会員 297 名)、賛助会員 19 団体、名誉会員 1 名である。昨年度から 80 名の増員。
  - ・ 第 10 回年会(2008 年度)は札幌で、第 11 回年会(2009 年度)は新潟で開催予定である。
  - ・ 昨年 11 月より、学会の顧問弁護士である佐藤博史弁護士（新東京法律会計事務所）との契約を変更した。月額 5 万円から、案件ごとに時間単価 1 万円(税込み)に変更。依頼業務は、法律問題に関する事前相談、学会としてのアクションや公開文書に関する法務チェック、訴訟対応等。再契約後には依頼案件なし。
  - ・ 学生会員から一般会員への身分変更の依頼があった。また、会費を滞納されている方がいるので納入をきちんとやってほしいとの依頼があった。
  - ・ 今年度より会費の自動引落しが可能になった。希望者は所定の用紙に記入・捺印の上、事務局（クバプロ 青木様あて）まで送付のこと。
5. 稲田会計幹事より、2006 年度の会計収支決算書が提出・説明され、異議なく承認された。
6. 稲田会計幹事より、2007 年度の会計収支予算案が提出・説明され、異議なく承認された。会費未納の会員は速やかに納入してほしい旨、依頼があった。
7. 饗場集会幹事より、年会の開催状況について報告がなされた。
8. 第 9 回年会世話人の内藤哲先生から、第 9 回年会は 2008 年 7 月 23 日(水)から 25 日(金)に札幌コンベンションセンターで開催予定であること、また、前日の 22 日(火)に公開シンポジウムが予定されているとの説明がなされた。
9. 中村会長より、年会の財務状況の改善を図るため、一般会員の年会費を値上げしたいとの提案があり、議論がなされた。会員より、値上げの根拠や年会の運営方法に関する質問や意見が出され、活発な討論が行われた。最終的に、一般会員の年会費を現行の 5000 円から 7500 円に引き上げることで、採決が行われ、賛成多数で可決された。
10. 廣瀬議長により、閉会の挨拶があり、総会が終了した。

(庶務幹事)

## 2006 年度日本 RNA 学会収支決算報告

2006 年度(2006 年 4 月 1 日～2007 年 3 月 31 日)の学会会計収支決算は以下のようになりましたのでご報告いたします。

2006 年度会計幹事: 稲田利文

収入の部				
科目	予算額	決算額	備考	
学会費	1,820,250	1,969,000	一般会員	1,598,000
賛助会費	420,000	330,000	学生会員	283,000
			入会金	88,000
雑収入		0		
預金利子	100	1,210		
収入小計	2,240,350	2,300,210		
前年繰越金	2,492,759	2,492,759		
合計	4,733,109	4,792,969		
支出の部				
科目	予算額	決算額	備考	
事業費	1,465,000	1,727,003		
年報発行	150,000	153,983	No.14,15	
年会補助金	1,000,000	1,038,740	第 8 回補助金	
		200,000	第 10 回会場予約金	
		19,280	第 9 回打ち合わせ旅費	
弁護士費用	315,000	315,000		
その他	0	0		
評議員費	110,000	27,490		
旅費・会議費	100,000	15,240		
その他	10,000	12,250	評議委員選挙	
業務委託費	603,750	682,500	クバプロ	
一般事務費	280,000	175,677		
印刷通信費	170,000	158,241	会報発送	
庶務事務費	30,000	0		
雑費	80,000	17,436	払込手数料・クバプロ旅費	
予備費	100,000	0		
支出小計	2,558,750	2,612,670		
次年度繰越金	2,174,359	2,180,299		
合計	4,733,109	4,792,969		

## 2007 年度収支予算

2007 年度(2007 年 4 月 1 日～2008 年 3 月 31 日)の学会会計収支予算は以下の通りです。

(2007 年度会計幹事:稲田利文)

### 収入の部

科目	2006 年度	2007 年度	備考
学会費	1,820,250	1,640,000	一般会員会費 1,428,000 (5,000 円×408 名×0.7)
賛助会費	420,000	330,000	学生会員会費 212,000
預金利子	100	100	(2,000 円×265 名×0.4)
収入小計	2,240,350	1,970,100	
前年繰越金	2,670,754	2,330,434	
合計	4,911,104	4,300,534	

### 支出の部

科目	2006 年度予算案	2007 年度予算案	
事業費	1,458,170	1,150,000	
年報発行	160,000	150,000	
年会補助金	980,650	1,000,000	
顧問弁護士費用	317,520	0	
その他	0	0	
評議員費	110,000	110,000	
旅費・会議費	100,000	100,000	
その他	10,000	10,000	
業務委託費	682,500	682,500	(注)会員 600 名以上の為
一般事務費	280,000	280,000	
印刷費	20,000	20,000	
通信費	150,000	150,000	
庶務事務費	30,000	30,000	
雑費	80,000	80,000	
予備費	50,000	50,000	
支出小計	2,580,670	2,272,500	
次年度繰越金	2,330,434	2,028,034	
合計	4,911,104	4,300,534	

## 第10回 RNA ミーティング（第10回日本 RNA 学会年会）の 準備状況について

第10回 RNA ミーティングを2008年7月23日（水）から25日（金）の予定で、札幌コンベンションセンター大ホールにて開催致します。今回は節目となる第10回記念大会です。北の大地札幌に、どうぞ、ふるってご参加くださるようお願い致します。

### 【大会日程】

第10回 RNA ミーティング（第10回日本 RNA 学会年会・RNA2008）

会期： 2008年7月23日(水)～25日(金) 3日間

会場： 札幌コンベンションセンター 大ホール

札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1

（札幌市街の中心、地下鉄大通駅から地下鉄東西線で3駅目の東札幌駅より徒歩8分）

懇親会会場： サッポロビール園

日本 RNA 学会ホームページ：<http://wwwsoc.nii.ac.jp/rnaj/>

（RNA2008 公式ホームページは平成20年4月中旬に公開予定）

（世話人：北海道大学大学院先端生命科学研究院 内藤 哲）

日本 RNA 学会 会報

第 17 号 (2008 年 2 月)

発行・製作：日本 RNA 学会 編集幹事

連絡先：九州大学

工学研究院 応用化学部門 井川 善也

〒819-0395 福岡市西区元岡 744

電話：092-802-2866 (直通)

FAX：092-802-2865

E-mail：yikawa@cstf.kyushu-u.ac.jp